

大神突撃隊・第十二海軍航空廠・西海海軍航空隊大分基地  
弾薬・兵器処理実績及び要領一覧

—大分港運株式会社提出資料を元に—

昭和 20 年 11 月～12 月



大神回天基地資料

- ・ 本資料は大分県公文書館所蔵の「弾薬処理一件(昭和 20 年 12 月)」の「弾薬・兵器処理実績表及び弾薬・兵器処理要領」と「弾薬処理費支払証憑書(昭和 21 年 2 月分)」の「爆弾爆薬海中投棄作業見積書」・「爆弾爆薬処理費用内渡請求書」を元に作成しています。
- ・ ただし「弾薬・兵器処理実績表及び弾薬・兵器処理要領」は管理者が便宜上つけた名称で、正式な名称については不明です。あしからずご了承ください。
- ・ この資料の著作権は JARIN に帰属します。
- ・ 本資料を取り扱ったことによる損害等に関して、こちらは一切関知しませんので、ご了承ください。
- ・ 原資料に関しては大分県公文書館にお問い合わせください。

大神突撃隊・第十二海軍航空廠・西海海軍航空隊大分基地 弾薬・兵器処理実績及び要領一覧

種別	単価		小計
沿岸荷役料	4.8	4,135 t	¥19,848
海中投棄料	4.8	4,135 t	¥19,848
舁回漕料	10.8	4,135 t	¥44,658
箱毀料	1	4,135 t	¥4,135
曳船料	250	32 隻	¥8,000
監視船料	50	27 日	¥1,350

海中投棄合計
4,315t

弾薬兵器処理合計
¥97,839

「爆弾爆薬海中投棄作業費見積書」の単価

		(雨中及夜間作業)
沿岸荷役料	¥4.8	3割増
海中投棄料	¥4.8	
舁回漕料	¥10.8	¥0.5増
特殊作業料(函毀し料)	¥1.0	
曳船料(機帆船曳船)	¥250.0	
監視船料	¥50.0	

噸数算定は船腹噸に拠る

(門海第148号門司海運局長許可料率に拠る)

右要項を以て連合軍指示場所(大分/日出間中央)に海中投棄仕可此段見積候也

昭和20年11月12日 大分港運株式会社

大分港運株式会社が提出した資料を基に作成しました。  
判読できなかったものについては●としました。

【弾薬・兵器処理実績表】

月	日	船名	船腹頓(st)	沿岸荷役料	海中投棄料	舢回漕料	箱毀料	曳船料	監視船料	合計
11	14	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	15	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	16	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	17	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	18	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	19	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	20	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
11	21	舢32号	20	96	96	216	20			428
		舢3号	40	192	192	432	40			856
		昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	22	昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	23	No.4号舢	40	192	192	432	40			856
		No.32号舢	20	96	96	216	20			428
		No.33号舢	25	120	120	270	25			535
		No.3号舢	40	192	192	432	40			856
		昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	24	No.32号舢	20	96	96	216	20			428
		No.3号舢	40	192	192	432	40			856
		No.33号舢	25	120	120	270	25			535
		No.4号舢	40	192	192	432	40			856
		昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50
	25	No.3号舢	40	192	192	432	40			856
		No.4号舢	40	192	192	432	40			856
		No.33号舢	25	120	120	270	25			535
		昭栄丸						250		250
		春日丸							50	50

11	26	No.3号脩	40	192	192	432	40		856
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		No.33号脩	25	120	120	270	25		535
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		No.33号脩	25	120	120	270	25		535
		昭栄丸					250		250
		春日丸						50	50
	27	No.3号脩	40	192	192	432	40		856
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		昭栄丸					250		250
		春日丸						50	50
	28	No.33号脩	25	120	120	270	25		535
		No.3号脩	40	192	192	432	40		856
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		昭栄丸					250		250
		春日丸						50	50
	29	No.4号脩	40	192	192	432	40		856
		No.3号脩	40	192	192	432	40		856
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		No.3号脩	40	192	192	432	40		856
		No.33号脩	25	120	120	270	25		535
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		No.33号脩	25	120	120	270	25		535
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		久吉丸	40	192	192	432	40		856
		昭栄丸					250		250
		春日丸						50	50
	30	No.3号脩	40	192	192	432	40		856
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428
		No.33号脩	25	120	120	270	25		535
		No.4号脩	40	192	192	432	40		856
		No.33号脩	25	120	120	270	25		535
		昭栄丸					250		250
		春日丸						50	50
12	1	万才丸	170	816	816	1836	170		3638
		No.5号脩	40	192	192	432	40		856
		昭栄丸					250		250
		春日丸						50	50
12	2	No.3号脩	40	192	192	432	40		856
		No.32号脩	20	96	96	216	20		428

12	2	No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		昭栄丸						250	250
		春日丸						50	50
12	3	No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		昭栄丸						250	250
		春日丸						50	50
	4	No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		福吉丸	40	192	192	432	40		856
		昭栄丸						250	250
		春日丸						50	50
	5	No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856

12	5	No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		福吉丸	40	192	192	432	40		856
		大分丸						250	250
		昭栄丸						250	250
		春日丸						50	50
	6	鉄舟	70	336	336	756	70		1498
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		福吉丸	40	192	192	432	40		856
		大分丸						250	250
		春日丸						50	50
	7	No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498
		福吉丸	40	192	192	432	40		856
		大分丸						250	250
		昭栄丸						250	250
		春日丸						50	50
	8	No.32号艇	20	96	96	216	20		428
		No.4号艇	40	192	192	432	40		856
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498
		No.33号艇	25	120	120	270	25		535
		No.3号艇	40	192	192	432	40		856
		福吉丸	40	192	192	432	40		856
		大分丸						250	250
		昭栄丸						250	250
		春日丸						50	50

12	9	No.32号舢	20	96	96	216	20		428	
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498	
		No.4号舢	40	192	192	432	40		856	
		福吉丸	40	192	192	432	40		856	
		昭栄丸					250		250	
		春日丸						50	50	
	10	関丸	150	720	720	1620	150		3210	
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498	
		No.33号舢	25	120	120	270	25		535	
		No.32号舢	20	96	96	216	20		428	
		鉄舟	70	336	336	756	70		1498	
		No.3号舢	40	192	192	432	40		856	
		大分丸					250		250	
		昭栄丸					250		250	
		福吉丸					250		250	
		春日丸						50	50	
	29		4,135	19,848	19,848	44,658	4,135	8,000	1,350	97,839

船腹噸(st)	沿岸荷役料	海中投棄料	舢回漕料	箱棄料	曳船料	監視船料	合計
4,135	¥19,848	¥19,848	¥44,658	¥4,135	¥8,000	¥1,350	¥97,839

作業日数	曳船隻数
27	32



【弾薬・兵器処理要領】

大神突撃隊

種別	数量	処理法	利用法	所要用具及び人員
回天	16個	2個及至3個に瓦斯切断	屑鉄	所要人員10名 3日 瓦斯切断員2名 3日 (瓦斯切断要具は大神にあり)
回天用教練頭部	18個		屑鉄	所要人員6名
回天実用頭部	13個	大神により大発にて2個横抱き 別府湾内水深50米附近に海中投棄		所要人員10名 3日 水深100米以上の場所に海中投棄する場合は 大発にて運搬不可能に付起重機船を必要とするも大神湾内水深3米なる為起重機船の入港 不可能なり
機銃・拳銃・小銃弾及発炎	101kg (匁)	海中投棄		所要人員5名
機銃・小銃・拳銃		要部を鋸打破壊	屑鉄	所要人員5名

第十二海軍航空廠

西海海軍航空隊大分基地

種別	数量	処理法	利用法	所要用具及び人員
機銃及同部品	機銃1715個 部品10kg (匁)	要部を鋸打破壊	屑鉄	1.貨物自動車 延76輛 2.所要人員 延760名
高角砲 噴進砲	30門	尾栓及砲口を瓦斯にて破壊	屑鉄	1.貨物自動車 延30輛 2.所要人員 延6000名 3.酸素 15本
爆弾及同部品	800匁 165個 500匁 101個 250匁 932個 70匁 150個 60匁 6088個 10匁 2922個 4匁 192個 1匁 5632匁 部品 10匁	海中投棄		1.貨物自動車 延439輛 2.所要人員 延4390名

防空用砲弾弾薬包	砲弾2463発 その他1736箱	海中投棄		1.貨物自動車 延51輛 2.所要人員 延510名
機銃弾	航空機用93万発 防空用3146発	海中投棄		1.貨物自動車 延79輛 2.所要人員 延790名
飛行機	金属機70機 木製機53機	胴体を瓦斯切断又は鎚打破壊	機体付属品は民需に利用 其の他屑鉄	1.貨物自動車 延193輛 2.所要人員 延1930名 3.酸素 7本
魚雷及同部品	189個	ドリルにて要部破壊	屑鉄	1.貨物自動車 延78輛 2.所要人員 延780名
魚雷実用頭部	116個	海中投棄		1.貨物自動車 延20輛 2.所要人員 延200名
機雷	51個	海中投棄		1.貨物自動車 延3輛 2.所要人員 延30名
発動機	2293個	要部を鎚打破壊	●は民需に利用 其の他は屑鉄	1.貨物自動車 延3輛 2.所要人員 延30名
プロペラ	819個	要部を鎚打破壊	屑鉄	1.貨物自動車 延3輛 2.所要人員 延30名
計				1.貨物自動車 延193輛 2.所要人員 延1930名 3.酸素 7本